

平成 29 年度第 3 回「三重県 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連  
事業推進本部」会議概要

日 時：平成 30 年 3 月 23 日（金）9:25～9:40

場 所：県庁 3F プレゼンテーションルーム

- 1 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会にかかる最近の主な動き  
事務局（清水課長）から、資料 1 により説明
- 2 平成 29 年度取組実績、平成 30 年度取組予定について  
部局長から資料 2、資料 3 により説明

村木スポーツ推進局長

・東京オリ・パラのキャンプ地誘致については、9 月の知事のカナダミッションにおいて、PR と視察を要請し、昨年 12 月にカナダ体操チームの知事表敬訪問につながった。また、シンクロとレスリングは、今月練習施設等の視察があり、高い評価をいただいている。シンクロについては、早い時期に回答いただけるのではないかと期待している。

・キャンプ地誘致については、昨年末から志摩市がトライアスロンでキャンプ地誘致に取り組んでおり、合わせて 6 市町の取組の支援を行っている。  
キャンプ地誘致が実現した際には、ホストタウンの登録も行い、国際交流等の様々な交流ができるよう庁内連携を図っていきたい。

・平成 30 年度は、フラッグツアーのイベントを国体決定イベント、スポーツ推進イベントと同時開催する。また、聖火リレーについても、組織委員会からの要請に的確に対応しながら進めていくなど、オリンピック、国体、全国障害者スポーツ大会とともに取組を本格化させていく。

田中健康福祉部長

・資料 2 の 2 ページ上段、29 年度は選手の発掘や育成、事前キャンプ地誘致に向けて、県内施設で競技団体の合宿や大規模大会の誘致を行っている。

・下半期の取組の 4 つ目、今月ボッチャ国際大会が開催され、選手やスタッフに事故等もなく、この大会のために香港から来日した、ケニー・ラウ競技委員長や

選手も満足して帰られた。

今後もボッチャをはじめとする障がい者スポーツを盛り上げていきたい。

・来年度の取組としては、引き続き合宿の誘致に取り組むとともに、既に決まっている12月の日本パラ水泳選手権大会に向けて、引き続き関係機関と調整を図りながら取組を進めていく。

木平副教育長

・資料2の2ページ、②早期からの一貫した教育支援体制の整備事業では、上半期に特別支援学校と近隣の小中学校との障がい者スポーツの活動を通じた交流を実施した。

ボッチャについては、1月29日に特別支援学校の6校71名の生徒が参加し交流試合を開催した。昨年3月に住友電装㈱様からボッチャの用具を寄贈いただいたことをきっかけに、特別支援学校の体育の授業で取り入れるなど取組が盛んになってきている。引き続き、スポーツを通じた障がい者に対する理解の促進、特別支援学校と近隣の小中学校等との交流の取組を進めていく。

・資料2の8ページ、東京オリ・パラの気運醸成で、東京2020大会マスコットの選定では、県教育委員会から各市町教育委員会及び県立特別支援学校に周知し、積極的な参加を依頼した。

・対象校401校のうち、283校の2,820学級で投票が行われた。小学生が直接、東京大会に関わることができる貴重な機会となったと考えている。

岡村農林水産部長

・資料2の3ページ、①農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業では、東京オリ・パラ関連宿泊施設等のマーケティング調査を実施した。東京オリ・パラのオフィシャルパートナー企業とのイベントを2回開催した。具体的には、味の素㈱様と連携した「勝ち飯プロジェクト」で、県産食材を活用したスポーツ応援メニューの提案を行うものであった。

また、東京での国際ホテルレストランフェアに出展した。

・資料2の4ページ、②東京オリ・パラ対応オーガニック認証及びGAP高度化推進事業では、指導員の育成、農業高校、農業大学の教員等を対象とした勉強

会等を開催し、認証取得を推進するとともに、「GAP認証農産物食材カタログ」を今年度中に作成する予定。

- ・資料2の5ページ、⑥東京オリ・パラを契機とした県産材の販売力強化促進事業では、県産材のパンフレットを作成するとともに、展示会に出展して県産材のPRを実施した。

- ・資料2の6ページ、⑦東京オリ・パラに向けたみえの水産物販売力強化事業では、10月1日に三重テラスでイセエビ漁解禁イベントを開催するとともに、11月と2月に東京で展示商談会を実施した。これが、ザ・キャピタルホテル東急における「三重フェア」の開催につながった。

- ・資料3の2ページ、平成30年度の取組予定では、引き続きラグジュアリーホテル等へのプロモーション、ケータリング事業者へのレセプションを実施するとともに、GAP等について、指導員の育成や生産者への支援等を行っていく。

#### 河口観光局長

- ・資料2の7ページ、東京オリ・パラをきっかけに訪日外国人を中心に三重県を訪れていただくチャンス。そのため、スポーツに関心の高い層を取り込めるよう、ゴルフツーリズムに積極的に取り組み、IAGTOの第一回日本ゴルフツーリズムの県内開催が決定した。

- ・SNS等を活用した情報発信では、Facebookに加えて3言語でインスタグラムを活用し、Facebookのフォロワー数が約97,000人、インスタグラムは、フォロワー数が約6,300人の状況。

- ・外国人観光客対応人材育成研修は現時点で13回開催し、3月26日にも別の受け入れ環境整備の研修を予定している。

- ・資料2の9ページ、国への提言・要望活動では、新たに新設が予定されている国際観光旅客税（仮称）を活用して地方への配分を求める要望を行った。

- ・平成30年度は、資料3の3ページ、6 訪日外国人旅行者の誘致では、東京オリ・パラの次も見据え、プロモーションのほか体験型メニューの充実やバリアフリー観光に取り組んでいく。

### 3 知事コメント

・今日で東京オリンピックまであと 854 日、東京パラリンピックまであと 886 日。長いようで、あっという間、各部局ともアンテナを高くして抜かりなく取り組んでほしい。

・オリンピックの影響力は大きくて、ピョンチャンオリンピックで活躍したカーリング女子の「そだねージャパン」、北見市のふるさと納税が急増している。

・オール三重で県民の皆さんが誇りに思えるような、東京オリ・パラを契機とした取組をやるのが、その後の三重県の活性化にもつながっていくので、是非そういう視点で各部局積極的に取り組んでほしい。

・大事なことは、県庁だけでなく、市町、民間事業者の方もこういうチャンスなんだということと一緒にやってほしい。

以 上